

The TENDAI journal

令和7(2025)年3月1日 土曜日
(毎月1日発行) 1部80円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル

発行所: 天台宗出版室
発行人: 出版室長 坂本 圭司
〒520-0113 大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内 電話: 077-579-0022(代)
Eメール: t-press@tendai.or.jp



広報天台

細野内局が初宗議会臨む



2月1日にご上任された第
二百五十九世天台座主藤光賢
猊下、また細野内局が初めて
の宗議会に臨んだ。

開会式で導師を務められた
藤天台座主猊下は、「不借身
命率先教化にあたり、もって
祖師先徳の鴻恩に報い奉る所

第百五十八回通常宗議会(大澤貫秀議長)が2月18日から20日まで開
かれ、令和7年度通常会計予算11億8422万円余りを含む議案23件、
報告3件を可決決定し全日程を終えた。

万博に魅力交流委員会が参加へ

存」と、改めて所信表明され
た。そして「戦争や紛争によ
る分断の深まり、不安定な経
済や政治の諸問題、また自国
の利益を最優先にする風潮が
世界的に見受けられます。今
年で戦後80年を迎えますが、
われわれ宗徒は平和への誓い
を新たにし、宗祖大師の『忘
己利他』『一隅を照らす』の
み教えを、道心をもって敷衍
してまいらねばなりません」
と「おことば」を述べられた。

続いて、細野舜海宗務総長
が執務方針を述べ、歴代内局
が最重要課題としてきた「人
材の育成」「教えの普及」「寺
院の存続」の三本柱を掲げ、
「宗祖大師様の目指した仏の
教えによる国の繁栄と、人び
とが幸せに暮らす社会を実現
するために、必要な教団運営
の指針として継承する」と表
明した。

令和7年度通常会計予算
は、歳入歳出ともに11億84
22万8千円。前年度より1
699万7千円の減額とし
た。歳入では、寺院教会納金
額一個数あたり270円で前
年度から据え置いた。予算編
成について細野宗務総長は
「物価の高騰による経費の増
加と僧侶数の減少による礼録
等の収入減により、大変厳し
いものであることがわかつ
た」と緊縮予算となったこと

を報告した。また今宗議会で
は、長期的視点での宗務運営
の方策を示すことは難しかつ
たとも述べ「激変する社会情
勢の中、問題意識を持つ機運
は高まっており、何らかの方
策を見出せるものと思う」と
展望を語り理解を求めた。

6月10日に奉修予定の第二
百五十九世天台座主伝燈相承
式については、臨時収納金と
して法人寺院教会より一個数
あたり20円、非法人寺院教会
より一律2千円を求めること
が議決された。その他、臨時
部に天台座主猊下の御座所改
修工事費や伝教大師最澄12
00年魅力交流大阪・関西万
博事業天台宗拠出金など5科
目を新設している。

声明公演など 予定

宗祖伝教大師1200年大
遠忌を機に立ち上がった伝教
大師最澄1200年魅力交流
委員会が、4月に開幕する大
阪・関西万博へ参加すること
が細野宗務総長より報告され
た。

滋賀県の魅力を発信する
「滋賀県デイ・びわ湖サマー
クルーズ」の中で、活動に
参加する大学生による延暦寺
の歴史等の紹介や、延暦寺一
山と天台宗僧侶による声明公
演が予定されている。

細野宗務総長は「この行事
等を通じて、伝教大師のご精
神を世界に発信していきたい
」と意気込みを話した。

極微

アメリカ・カリ
フォルニア州の山
火事は、想像を絶
する被害をもたら
した。乾燥地帯で
雨が少ないなどの
土地特有の事情も
あったが、それにしても甚大
な惨事を引き起こした山火事
であった▼火事といえば日本
の場合、大きな山火事はあま
り起こらないが、地震が引き
金となる火災のほうがよほど
に怖い。能登半島地震では千
年以上の歴史を持つ「輪島朝
市通り」で200棟以上の建
物が焼失したが、焼け跡はす
さまじい状態だった▼「地震
雷火事 親父」と、世の中の
怖いものが上げられているが、
「親父」の怖さなどどうの昔
に無くなっている。「雷」を
除けばあと二つ「地震と火事」
がセットで襲うのだからたま
らない。日本という国の宿命
といってしまうばそれまでだ
が、手をこまねいている訳に
はいかない▼南海トラフ地震
が今後30年以内に起こる確率
が80パーセントと言われている。
発生が今日かもしれない
し、明日かもしれない。不気
味で不安ではあるが「多分、
今すぐではないだろう」と何
の根拠もなく思い込み、安心
している人も多いのではない
か。しかし「大地震は確実に
発生する」という強い思いに
戻るべきだろう。来るべき発
生時に備え、できる限りの
防災対策を用意する必要がある。
「最後の最後は自分で自
分を守るしかない」ことを忘
れずにいたい。